

北区柴三郎略年譜

西暦	年号	年齢	事項
1853	嘉永6年	0歳	1月29日 父惟信・母貞の長男として、現在の熊本駅阿蘇郡小国町に生まれる
1871	明治4年	18歳	熊本医学校に入学、オランダ人医師マンスフェルトに師事し医学への道を志す
1874	明治7年	21歳	東京医学校（1877年、東京大学医学部と改称）に入学
1883	明治16年	30歳	4月松尾通と結婚・4月東京大学医学部を卒業、内務省衛生局に入局
1885	明治18年	32歳	11月 ドイツ留学を命じられる
1886	明治19年		1月 ベルリンのローベルト・コッホに師事する
1889	明治22年	36歳	破傷風菌の純粋培養に成功する
1890	明治23年	37歳	破傷風菌抗毒素（免疫体）の発見、血清療法の確立
1892	明治25年	39歳	5月 ドイツから帰国・11月 内務省に復職・10月 芝公園内に私立伝染病研究所を創立
1893	明治26年	40歳	9月わが国最初の結核専門病院土筆ヶ岡養生園を開設
1894	明治27年	41歳	2月 伝染病研究所を芝区愛宕町に移転 5月～6月ペストの原因調査のため香港に派遣され、ペスト菌を発見
1897	明治30年	44歳	志賀潔、赤痢菌を発見・伝染病予防法制定
1899	明治32年	46歳	3月伝染病研究所が、国立となり、内務省の管轄となる。
1901	明治33年	48歳	福沢諭吉逝去
1906	明治39年	53歳	4月 日本連合医学会（現、日本医学会）会頭を務める・ 11月 伝染病研究所を白金台町に移転
1908	明治41年	55歳	6月 恩師ローベルト・コッホ夫妻来日、日本各地を案内する
1910	明治43年	57歳	4月 秦佐八郎がサルバルサンを創製・5月 恩師ローベルト・コッホ逝去
1911	明治44年	58歳	8月 恩賜財団済生会評議員になる・9月 恩賜財団済生会医務主管に就任
1913	大正2年	60歳	日本結核予防協会を設立、理事長に就任
1914	大正3年	61歳	11月 伝染病研究所が内務省から文部省に移管され、所長を辞任 同日、土筆ヶ丘養生園の一角に私立北里研究所を創立（伝研騒動）
1915	大正4年	62歳	10月 恩賜財団済生会芝病院（現、東京都済生会中央病院）初代院長に就任 12月 北里研究所 所屋竣工 開会式を行う
1916	大正5年	63歳	8月 生誕地熊本県小国町に「北里文庫」を寄贈
1917	大正6年	64歳	4月 慶應義塾大学医学科を創設、初代科長に就任・12月 貴族院議員となる
1918	大正7年	65歳	10月 社団法人北里研究所となる・11月 社団法人大日本私立衛会会頭に就任
1923	大正12年	70歳	11月 医師会令の法案成立により日本医師会を創設、初代会長に就任
1926	大正15年	73歳	5月 妻通逝去
1931	昭和6年	78歳	6月13日、脳溢血により逝去・青山斎場で葬儀、青山墓地に葬られる。